

あきた労福協

2015年1月1日

NO.113

発行所／秋田県労働福祉協議会

発行責任者 高橋暢嘉

秋田市中通6丁目7-36労館内

Tel 018-833-1875 · Fax 018-833-0506

ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

迎春 誰もが安心して暮らせる社会を



秋田県労働福祉協議会
会長 東海林 悟

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、秋田県労働福祉協議会の事業推進に対して、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。東日本大震災から、まもなく4年が経過しようとしています。震災から得た教訓を風化されることなく、引き続き早期復興にむけて支援を取り組みますので皆様からのご協力をお願い致します。秋田県は、超少子高齢化の進展による人口減少に歯止めがかかる、地域社会の存続が問われるなどたいへんな課題を抱えています。また、労働環境も労働者保護ルールの改悪の動きや非正規労働者の増大により格差と貧困の拡大が進展しており、ますます労働の劣化が顕著になっています。秋田労福協は、働くものの支え合い・助け合いの原点に立ち、様々な社会不安を取り除き、安心して生き生きと暮らせる社会や勤労者福祉の更なる充実をめざし、中央労福協・北部労福協はもとより労働金庫や全労済などの労働福祉事業団体・ライフサポートセンターあきたと連携し「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉型社会」の実現に向け引き続き努力して参る所存でございます。皆様からのこれまで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

2015年頭挨拶

労働者福祉中央協議会 会長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

格差と貧困が進む中、一部の層だけが富を享受し、社会の分断を推し進めるのか、それとも、社会の裾野に光を当てて包摂的な成長をめざすのか。私たちは大きな岐路に立っています。経済的効率の追求だけでなく、社会性や人と人との絆、協同の仕組みが組み込まれた公正な社会づくりは世界共通の課題です。こうした潮流を見据えて運動を進めていきたいと思います。

中央労福協は、今年の4月からスタートする生活困窮者自立支援制度をより良いものにするなど地域・現場での問題解決と、貧困・格差の解消や「奨学金」問題など政策・制度改善、社会運動の両面から取り組んでいきます。

労働者自主福祉事業の基盤強化についても着実に前進させていくことが必要です。「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざし、労働者自主福祉運動と労働運動との連携を強固なものにし、職場に、地域に、共助の輪を広げていきましょう！

新年明けまして
おめでとうございます。



新年を迎えてひとこと



東北労働金庫秋田県本部

本部長 小玉 俊己

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、東北労働金庫秋田県本部並びに県内各営業店に対しまして格別なるご支援とお引き立てを賜わり、衷心よりお礼を申し上げます。

昨年は、労働金庫業態の最重要課題の一つでありました「業態の事務統一」について会員・利用者の皆様のご理解とご協力を頂きながら万全の態勢を構築しシステム移行作業を進めて参りました「全国ろうきん新オンラインシステム（R1）」への移行が完了し、統一を図ることができました。あらためてご協力に感謝申し上げます。

本年も「日本でただ一つ、働く人のための生活応援バンク」として、更には福祉金融機関としての役割を果たし、会員・利用者の皆様に安心してご利用頂けるよう、東北労働金庫の総力を挙げて取組んで参りますので、引き続き変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。新しい年が労福協各構成組織の皆様にとって良い年でありますことを心よりご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



全労済秋田県本部

本部長 工藤 雅志

新年明けましておめでとうございます。労福協に結集された皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶

び申し上げます。

昨年は、労福事業団体の啓発を目的とした研究集会の開催等、事業団体へのご協力に深く感謝申し上げます。今年こそは、全労済が皆さまの負託に応える1年にしなければならないと思っております。

今年は、全労済の原点共済である火災共済を2月から大きく改定いたします。とりわけ、火災共済の構造区分を見直し、組合員の皆さまのニーズに十分に応えることが可能な共済へと生まれ変わります。

さらに、2017年には創立60周年の節目を迎える全労済として、組合員の皆さまに信頼され安心される生協を目指し、新たな方針である Zetwork-60 の実現に向けてのスタートする年であります。

今年も皆さまに親しまれる保障の生協として、職場や地域で頼りにされる全労済をめざし役職員一同鋭意努力してまいりますので、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。皆さまにとって最良の一年になることをご祈念し年頭のあいさつといたします。



謹んで新春の お慶びを申し上げます

本年も、はたらく人たちの いちばん身边で親しみやすい
生活応援バンクとして 東北ろうきんを
ご愛顧いただきますよう よろしくお願ひ申し上げます。

簡単・便利な「ろうきんダイレクト」

年間ご利用手数料は無料!!

ATMや窓口に行く手間なし

ろうきんダイレクト主な取扱メニュー

残高照会

財形貯蓄等
の支払い※

振込み

各種ローン
繰上返済

定期預金等
新規口座開設

振替入金

※あらかじめ当金庫と事業主との取り決めがある場合にご利用できます。

役他
に立ち
てもよ
う。

立場で
立つよ
う。

立つよ
う。

立つよ
う。

立つよ
う。

ろうきんダイレクトの特徴

いつでも
急なときでも

ろうきんの窓口があいていない時間（休日含む）でもご利用いただけます。また、急に資金が必要になったときでも、所定時刻までにご依頼いただいたものについては、当日中に振込・振替処理を行います。※サービスの内容やメンテナンス等により、ご利用いただけない日・時間帯がありますので、ご了承ください。

どこでも

ろうきんの窓口やATMまで行かなくても、固定電話、携帯電話、パソコン・スマートフォンなど、どこからでもお好きな方法でご利用いただけます。※ご利用形態により、利用できるサービスの内容が異なります。

安心・安全に

ご契約番号、「第二暗証番号」、複数の「パスワード」の入力による本人確認など、セキュリティも万全です。

手数料がおトク

振込手数料は窓口を利用する場合に比べてお安くなっています。また、振替手数料が無料でご利用いただけます。

他の金融機関あてに5万円以上お振込の場合、【窓口】¥756→【ろうきんダイレクト】¥270

簡単にお申込み

ろうきんからキャッシュカードが発行されている総合口座（普通預金）をお持ちの個人のお客様であれば、パソコン・携帯電話（スマートフォン・タブレットを除く）から簡単にお申込みいただけます。

東北ろうきん

検索

click!

東北労働金庫
0120-1919-62

（受付時間：平日午前9時～午後5時）

<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

2014年12月1日現在



ろうきんダイレクトは
簡単に申込ができる
とっても便利!!

ろうきんイメージモデル
高垣 麗子





一般財団法人
秋田県労働会館
専務理事 石塚 久志

新年あけましておめでとうございます。日頃から当会館運営にご支援ご協力を賜りまして心から感謝を申し上げます。

労福協会員の皆様におかれましては、正月休みで心も体もリフレッシュされたことと思います。

いよいよ新しい年を迎えて、それぞれ胸に期するものがあると思います。まずは、この一年間健康であり続けたいものであります。そのことによって依然として厳しい社会環境を乗り切ることができます。

本年は、羊年であります。羊は家族の安泰や平和をもたらすといわれております。

どうか皆様方におかれましては、穏やかで温かく、優しくこの新しい年が佳き年になるよう心より祈念し、本年もより一層当会館をご愛顧願いまして新年の挨拶といたします。

お知らせ

税務署確定申告の相談及び申告受付
2月16日(月)~3月16日(月)

申告会場

労働会館 (フォーラムアキタ)

秋田市中通6丁目7-36

☎ 018-833-2335



確認しましょう！

秋田県の最低賃金

1時間あたり 679円

平成26年10月5日から

深夜(午後10時~午前5時)

1時間あたり 849円

お問い合わせ

秋田労働局基準部賃金室

☎ 018(883)4266

ZENROSAI NEWS

0514B007



加入者の
過半数が、
見直しで
選んでいます。

※2014年全労済調べ：直近1年以内「火災共済」加入者(206名)へのアンケート結果より

謹賀新年

家計の見直しを考えている、あなた。

火災保障の見直しを忘れていませんか。

加入者の過半数が、

見直しで選んでいます。

あなたも、見直してみませんか？

選ばれて、60周年。

自然災害保障付 火災共済

全労済は、営利を目的としない
保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。
出資金をお支払いいただきて各
都道府県生協の組合員になれば、
各種共済をご利用いただけます。

非営利だから、できる保障がある。

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済ホームページ
<http://www.zenrosai.coop>

資料請求・お問い合わせ先は

☎ 018-824-6031

受付時間 9:00~17:00
(土日・祝日を除く)

全労済秋田県本部
秋田県労働者共済生活協同組合

地区労働福祉協議会

鹿角地区労福協

会長 奈良 勉

新年明けましておめでとうございます。
鹿角地区労福協を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

今年は未年ですが、群れをなす羊は、家族の安泰を示しいつまでも平和に暮らす事を意味するそうです。

今の社会・政治の流れは安心・安定した暮らしには逆行するようなことが散見されますが、鹿角地区労福協は労働金庫や全労済との連携を強化し、地域に働くすべての勤労者が人間らしく暮らし、働く福祉社会の実現をめざして参りますので、今年も変わらぬご支援をお願いするとともに皆さまにとって健康で幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

大館地区労福協

会長 碇谷 博人

新年明けましておめでとうございます。
昨年は消費税増税に始まり、アベノミクスの失敗により、地方と中央との格差は益々拡大し、私たちの生活は厳しさを増し、さらには国民の信任を受けたとは到底言えない安部政権が、政権を延命させるという暗い年でした。

会員の生活と福祉の向上を推進する労福協の活動は今後益々その重要度は高まります。

労福協活動の飛躍に向け取組んで参りますので、今年もよろしくお願ひいたします。



男鹿潟上南秋地区労福協

会長 太田 修

2015年明けましておめでとうございます。旧年は、デフレ脱却・景気回復の言葉だけが一人歩きして、現実には地方の中小企業では給料があまり上がらず、消費税アップがそのまま家計に打撃を与えました。

ただ一方では、2020年東京オリンピック開催が決定して、今後の景気回復に期待を持たせるニュースもありました。

男鹿潟上南秋地区労福協は、東北労働金庫、全労済と連携を強化し労働者福祉向上に取り組んで参ります。

活気に満ちた男鹿潟上南秋地区を目指し、皆様と共に力を合わせて頑張って参りますので、本年も労福協に対する引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。

秋田地区労福協

会長 金持 史宣

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

慌ただしい師走選挙を終え、新たな1年のスタートを迎えるました。われわれ労働者・生活者にとって明るい兆しを実感し、日本国民として誇りを持てる世の中の実現に向けて、有権者の負託を受けた議員の方々の良識ある行動を願うばかりです。

東日本大震災から4年を迎えます。あらためて東北人として震災を風化させることなく少しでも多くの復興支援に参画する意識が必要であることを感じております。昨今の自然災害は一度の災害規模が大きく、まさに常日頃からの防災意識の醸成とともに万が一に備えることの重要性がより増してます。

本年も「連帶・共同」の精神に則り、労働運動と事業団体が手を取り合い、暮らしの安全・安心を実現し、すべての生活者の拠り所として運動する重要性を肝に銘じ地区労福協運動を進めて参りますので、これまで同様のご理解とご協力を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

能代山本地区労福協

会 長 鎌 田 守

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、能代山本地区労働福祉協議会の活動に対し、ご支援ご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

我々労働者の生活はアベノミクスによって安定を感じられない状況であります、新しい一年に期待を持ち共に頑張りましょう。

今年も東北労働金庫、全労済などの労働福祉事業団体と連携を強化して参ります。

本年も宜しくお願ひ申し上げます。

大曲仙北地区労働福祉協議会

会 長 岩 佐 真

新年あけましておめでとうございます。

昨年から円安・ドル高基調が続き、日経平均株価も1万8,000円に近づく勢いがあり一見景気が良さそうに見えますが、地方や中小・零細企業には全く恩恵のない「アベノミクス」によって、より格差が広がった感は否めません。

賃金がなかなか上がらない中、労働者自主福祉運動を更に推進し、連合運動とともに労福協運動の前進を目指していきたいと思います。

横手平鹿地区労働福祉協議会

会 長 齊 藤 齊

新年明けましておめでとうございます。

皆様、年末年始はいかがお過ごしでしょうか。

さて、私ども労福協は、人と人とのつながり、助け合い、連帯を持って従来通り活動と運動を心がけ、労働組合の持つ特性を發揮できるよう、今年度も労働者自主福祉運動を開拓してまいりたいと思っております。

今年も宜しくお願ひ致します。

本荘由利地区労福協

会 長 柳 田 保

2015新春のお慶びを申し上げます。

安倍内閣は、「積極的平和主義」の具体化として「特定秘密保護法」「国家安全保障会議設置法」を強行採決し、「武器輸出三原則」に代わる「防衛装備移転三原則」を閣議決定。さらに「集団的自衛権」の閣議決定などタカ派色丸出しの道を歩いています。平和の危機が迫っています。

働く人たちの拠り所として、今年もよろしくお願ひ致します。

湯沢雄勝地区労働福祉協議会

会 長 鈴 木 智 史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

近年、労働者福祉を巡る環境が変わっていく中で、不安定雇用者の拡大や、さらなる格差の拡大が目立ちます。私どもの地域でも例外ではありません。

今後、さまざまな労働者福祉をめぐる状況が改善できるよう、仲間で支え合いながら一つ一つ解決の運動を進めてまいりますので、本年も宜しくお願ひ申し上げます。



横手観光協会「雪の芸術」にてトトロを作製

研究集会

労金労組秋田県支部・全労済労組秋田支部・県労福協主催

労働者自主福祉シンポジウムを開催!



2014年11月6日（木）

フォーラムアキタにて開催し、57名が参加した。このシンポジウムは、中央労福協が提唱する「労福協の理念と2020年ビジョン」の実現に向けて全国47都道府県で開催しており秋田県でも開催することとなった。10年先を展望したビジョンであり「連帶・協同で作る安心・共生の福祉社会」を目指すものである。今回は、労働組合と事業団体が「業者」と「お客様」の関係から「ともに運動する主体」となり、労働運動・労働者自主福祉運動を実践していく事を再認識し、運動を展開していく重要性を伝えるためにシンポジウムを開催した。



講師・高橋アドバイザー

第I部の基調講演では、中央労福協アドバイザー高橋均氏から「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念・課題」と題して、労金・全労済の成り立ちなどの歴史や当面する労働運動の課題など講演が行われた。

第II部のパネルディスカッションは「労働者福祉運動を共に担うために何をすべきか」というテーマで東北労金、全労済、地区労福協、県労福協の立場から、それぞれの現状や今後の課題について討論が行われた。

自治体要請

11月19日（水）県庁

第2庁舎にて2015年労働者福祉制度の充実を求める要請書を県へ提出した。

要請の内容は、東日本大震災の被災者支援、格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化や暮らしの総合支援（ライフサポート）事業運営への理解と協力、多重債務対策、中小企業労働者の福祉格差の是正など8項目。

また2015年生活困窮者自立支援法の施行に伴い誰もが排除されず社会とのつながりの中で自立できる支え合いの社会・地域づくりにつなげていくためにも早急な制度整備を進めることが必要であると考え「生活困窮者自立支援制度の構築に向けた要請」も行った。

佐々木産業労働部長に
要請書を手渡す東海林会長

東日本大震災復興支援・第27回チャリティゴルフ大会カンパ金贈呈

9月5日(金)秋田椿台カントリークラブにおいて159人の参加で開催された。この大会は、健康で活動できることに感謝するとともに社会の不条理に遭遇された方々へのささやかな激励の意をこめて行われている。大会では、当日設置したカンパ箱に47,914円のカンパ金が寄せられるとともに事業団体、労働団体、企業から121万円のプログラム協賛広告が寄せられた。

これらを基に11月20日(木)秋田市の福祉施設や共同作業所、子育て支援施設等10団体に寄付金を贈った。このほか、今年も東日本大震災復興支援として岩手県労福協を通じて被災地へ支援金を贈る予定である。

10団体に100万円 ~ 健常者と障害者が共生できる社会となるよう役立ててほしい ~



主催者を代表して挨拶する
小玉副会長



福祉団体に目録を手渡す
工藤副会長(右)



お礼を述べる「秋田県身体障害者
スキー協会」の進藤雄一氏

ライフサポートセンターあきた便り

相談員日記 その4

某月某日 相談スキルの向上めざし、昨秋は3つの研修会へ参加した。10月東京での中央労福協主催の「LSC実務者・相談員研修会」では、ロールプレイングでパワハラ被害の“相談者役”を演じさせられ、初めての経験に戸惑いながらも新鮮な刺激を受けた。

今なお1,000人以上に及ぶ大震災と原発事故からの県内避難者支援のために、県主催で8月～11月に4回開催された「秋田県内避難者サポート養成講座」では、サポートも自然体で“支え合ってその人らしく生きる”ことの大切さを学んだ。最後に県知事名の立派な「修了証」と「サポート証」が授与されたが、自分が思いもかけぬ第1号認定者であったことには、少し恥かしい思いがした。

11月は県医師会の「うつ病相談対応研修会」に参加した。うつ病増加を反映して「『秋田いのちの電話』へのコール数が年間12,000件に及び、僅か20%しか繋がらない」という報告には、大きな衝撃を受けた。また、「うつ病者と向き合う相談者には、技術ではなく“真摯に寄り添う心”が大切である」ことを改めて学ぶことができた。

今年も、“なんでも相談”的に“なんでも学習”的な心構えで臨んでいこうと思う。

師走総選挙の結果には、正直落胆を禁じえなかった。何よりも破綻寸前のアベノミクスが「全面的に支持された」と曲解され、やみくもに加速することが最も恐ろしい。

その先に待ち受けているものは、円安不況と物価の上昇であり、さらなる労働コスト低減を狙った労働法制改悪であり、選挙後素早く打ち出された「介護報酬の引き下げ」が象徴する福祉の切り下げ、ひいては“格差社会”的な層の深刻化に他ならない。

国民が白紙委任した訳ではないが、ともかく国民の審判は下された。たしかなことは、新たな年の幕開けに、LSCの使命は、より一層重く大きくなつたという現実だ。

市民や労働者の生活のサポートのために、しつかり腹をくくつて頑張ろう。

(い)

相談室から

秘密厳守

だから安心して
ご相談いただけます。

ライフサポートセンターあきた

暮らし なんでも 相談

相談無料

※専門家等に相談する
場合は、別途料金が
かかる場合があります。

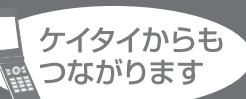
労働問題／金融／生活保障／
福祉／法律／サラ金 などの
相談受け付けます

気軽に相談に行こう!!



日常生活で起こる様々なトラブルや悩み事、困ったことなどの解決策を一緒に考えます。

お気軽にご相談ください!



0120-980-669

相談受付 平日 (土・日・祝祭日を除く) 相談時間 午前10時～午後5時

※ご相談はメールでも受け付けています。(24時間自動受付) ※ご来場頂いて、アドバイザーとの面接相談にも応じております。

ライフサポートセンターあきた
フォーラムアキタ労働会館

〒010-0001 秋田市中通6丁目7-36 フォーラムアキタ内 E-mail: akita-lsc@rofuku.net

構成団体 秋田県労働福祉協議会／東北労働金庫秋田県本部／全労済秋田県本部／連合秋田

協力 秋田県／秋田市／秋田県社会福祉協議会／秋田労働局／秋田弁護士会／秋田県司法書士会
東北税理士会秋田県支部／秋田魁新報社／朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞社秋田支局